

2025 年度日本分析化学会役員

会長（代表理事）	山本 博之						
副会長	平山 直紀	保倉 明子	手嶋 紀雄	津越 敬寿	吉田 裕美	小澤 岳昌	
庶務担当理事	坂入 正敏	珠玖 仁	敷野 修	巽 広輔	森内 隆代	高柳 俊夫	
	井上 高教	夏原 正仁	西本 右子	高橋あかね	東海林 敦		
会計担当理事	松浦 義和	島田亜佐子					
編集担当理事	山口 央	竹内 政樹	加地 範匡				
常務理事	福井 俊司						
監事	長谷川 健	安田 純子					

2025 年度日本分析化学会支部役員

【北海道支部】	(〒060-8628 北海道札幌市北区北 13 条西 8 丁目 北海道大学大学院工学研究院内)							
支部長	坂入 正敏							
副支部長	(木村)須田廣美 南 尚嗣							
参与	伊藤 慎二	伊藤八十男	片山 則昭	菅 正彦	齋藤 健	齋藤 徹	神 和夫	
高橋 一樹	高橋 英明	田中 俊逸	長谷部 清	森田みゆき	横沢 龍朗			
監事	渡慶次 学	蠣崎 悌司						
庶務幹事	佐藤 久	谷 博文						
会計幹事	真栄城正寿	山田 幸司						
幹事	青柳 直樹	池田 敦子	石田 晃彦	今枝 佳祐	上野 貢生	宇都 正幸	大木 淳之	
大津 直史	岡 征子	奥田 弥生	川口 俊一	工藤 英博	小寺 史浩	堺井 亮介	佐々木隆浩	
真田 哲也	高瀬 舞	高橋 徹	田原るり子	千葉 真弘	徳光 藍	富田 恵一	中田 耕	
中谷 暢丈	中屋 佑紀	西村 一彦	沼田ゆかり	松井 宏之	三浦 篤志	三原 義広	村井 毅	
諸角 達也	吉村 昭毅	龍崎 奏	若杉 郷臣					
【東北支部】	(〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-11-604 東北大学大学院工学研究科内)							
支部長	珠玖 仁							
副支部長	高貝 慶隆							
参与	秋葉 健一	大関 邦夫	大類 洋	尾形 健明	荻野 博	長 哲郎	後藤 順一	
齋藤 紘一	佐藤 允美	糠塚いそし	星野 仁	山崎 慎一	四ツ柳隆夫			
監事	大江 知行	藤村 務						
庶務幹事	伊野 浩介							
会計幹事	長峯 邦明							
幹事	赤坂 和昭	壹岐 伸彦	石川大太郎	伊藤 徹二	井上 賢一	岩田 吉弘	遠藤 昌敏	
大橋 弘範	小川 信明	押手 茂克	尾高 雅文	加藤 健	上條 利夫	唐島田龍之介	菊地 洋一	
菊池美保子	北川 文彦	熊谷 将吾	斎藤昇太郎	佐藤 勝彦	佐藤 健二	佐藤 雄介	猿渡 英之	
澤村 瞭太	志村 清仁	杉山 将司	田副 博文	多田 美香	寺前 紀夫	照井 教文	仲川 清隆	
西澤 精一	沼田 靖	野原 幸男	橋本 隆光	幡川 祐資	比嘉 勝孝	平野 愛弓	平山 和雄	
福山 真央	末永 智一	松枝 誠	三浦 拓也	松村 洋寿	眞野 成康	盛田 伸一	山田 理恵	
李 宣和	和久井喜人	渡辺 壱	渡辺 健一	渡辺 忠一				
【関東支部】	(〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号)							
支部長	菅原 一晴							
次期支部長	平山 直紀							
副支部長	上野 祐子	梅林 泰宏	敷野 修	島田亜佐子				
参与	梅澤 喜夫	大橋弘三郎	岡田 哲男	小熊 幸一	金澤 秀子	楠 文代	合志 陽一	
澤田 清	四宮 一総	渋川 雅美	杉谷 嘉則	鈴木 康志	高田 芳矩	高村喜代子	田中 龍彦	
津越 敬寿	角田 欣一	中込 和哉	中村 洋	二瓶 好正	丹羽 修	早下 隆士	平井 昭司	
藤浪 眞紀	保母 敏行	本田 俊哉	前田 瑞夫	宮村 一夫	望月 直樹	安田 純子	矢野 良子	
山崎 素直	山根 兵	山本 博之						

お知らせ

監事	菅沼 こと	津越 敬寿							
常任幹事	青木 寛	板橋 大輔	稲川 有徳	植田 郁生	梅村 知也	岡村 浩之	勝又 啓一		
	坂元 秀之	高橋由紀子	高橋 豊	豊田 太郎	中村 圭介	西垣 敦子	西山 徹男		
	沼子 千弥	林 英男	古庄 義明	南 豪	山口 央	由井 宏治			
支部幹事	桑原 直子	齋藤凜太郎	鈴木 悠希	田中 佑樹	半田友衣子	森田耕太郎	吉川ひとみ		

【中部支部】 (〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1-35-18 一光大須ビル7F (公財)中部科学技術センター内)

支部長	巽 広輔								
次期支部長	高田 主岳								
副支部長	加賀谷重浩								
顧問	板谷 芳京	一ノ木 進	井村 久則	上田 一正	太田 清久	小谷 明	北川 邦行		
酒井 忠雄	佐々木与志実	鈴木 正巳	田口 茂	柘植 新	津田 孝雄	寺田喜久雄	永長 幸雄		
中田 隆二	中村 俊夫	野村 俊明	早川 和一	樋上 照男	平出 正孝	舟橋 重信	三輪 智夫		
山田 真吉	山寺 秀雄	湯地 昭夫							
参与	宇野 文二	竹内 豊英	田中 智一	遠田 浩司	波多 宣子	服部 敏明	馬場 嘉信		
監事	江坂 幸宏	倉光 英樹							
庶務幹事	高橋 史樹	飯國 良規							
会計幹事	植松 宏平	村上 博哉							
常任幹事	石田 康行	植松 宏平	太田 一徳 (後任確認中)	小川 数馬	甲斐 穂高	菅野 憲			
北川 慎也	金 継業	栗原 誠	村上 博哉	山本 拓平	湯川 博 (後任確認中)				
幹事	青木賢一郎 (後任確認中)	伊神 裕善	石松 亮一	伊藤 雅章	大阪 一生	奥山 修司			
香川 信之	勝又 英之	加藤 亮	金子 聡	儀賀 義勝 (後任確認中)	北川 慎也	北出 和久			
木全 良典	坂江 広基	佐澤 和人	柴田 信行 (後任確認中)	鈴木 保任	高山 勝己	高山 信幸			
轟木堅一郎	丹羽 敏之	濱地 清市	古川 真衣	松宮 弘明	三添 英明	宗兼 将之	森 敦		
山腰 亮子	リムリーワ								

【近畿支部】 (〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 (一財)大阪科学技術センター内)

支部長	森内 隆代								
副支部長	久本 秀明								
庶務幹事	岡本 行広	椎木 弘							
会計幹事	山口 敬子	壺井 基裕							
参与	荒川 隆一	北山 紗織							
木村 恵一	大塚 利行	大塚 浩二	尾崎 幸洋	垣内 隆	加納 健司	木原 壯林			
寺部 茂	木村 優	佐伯 正夫	澁谷 康彦	田中 稔	谷口 一雄	千熊 正彦			
渡會 仁	中原 武利	藤田 芳一	藤原 英明	松下 隆之	八尾 俊男	横井 邦彦			
常任幹事	内山 兼一	奥田 浩子	金尾 英佑	北隅 優希	久保 拓也	河野 七瀬	駒谷慎太郎		
夏原 正仁	初 雪	諏訪 雅頼	外間 進悟	坪井 泰之	西尾 友志	菱田 尚子	平原 将也		
幹事	青山 佳弘	浅川 大地	飯田 琢也	石切山 一彦	石濱 泰	磯尾賢太郎	大和 誠司		
岩月 聡史	上田 啓太	植田 正人	宇田 亮子	遠藤 達郎	大城 敬人	小山 宗孝	糟野 潤		
門 晋平	川上奈津子	川崎 英也	川田 武史	河野 慎一	川元 達彦	木村 敦臣	久保埜公二		
倉内 奈美	桑本 恵子	小池 亮	小島 順子	小林 典裕	小林 宏資	佐々木隆之	作花 哲夫		
下条晃司郎	下山 昌彦	許 岩	白井 理	杉原 崇康	杉山 彩代	杉山 雅人	鈴江 崇彦		
鈴木 哲	鈴木 雅登	瀬戸 康雄	宗林 由樹	宋和 慶盛	高木 一好	高木 達也	高野祥太郎		
高橋 弘樹	武上 茂彦	竹田さほり	田中 悟	谷田 肇	谷水 雅治	茶山 健二	塚越 一彦		
塚原 聡	塚本 効司	辻 幸一	辻 皓平	角井 伸次	天満 敬	鳥羽真由子	土井 光暢		
床波 志保	豊田 岐聡	永井 秀典	中口 譲	中澤 隆	中島 陽一	中田 靖	中原 佳夫		
中村 稜雅	西 直哉	野田 達夫	萩森 政頼	橋田紳乃介	長谷川 健	張野 宏也	東 昇		
藤居 義和	藤嶽 暢英	藤森 啓一	藤原 学	布施 泰朗	細矢 憲	堀田 弘樹	堀山志朱代		
本間 秀和	前田 耕治	牧 輝弥	松本 明弘	丸尾 雅啓	三戸 彩絵	宮崎 哲男	宮道 隆		
向井 浩	村松 康司	森澤 勇介	森田 成昭	八木 正浩	矢嶋 摂子	安井 裕之	安川 智之		
山垣 亮	山口 英一	山根 常幸	山本佐知雄	山本 茂樹	山本 雅博	吉田 裕美	渡邊 誠也		

お知らせ

【中国四国支部】	(〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町 2-1 徳島大学理工学部応用化学システムコース内)
支 部 長	高柳 俊夫
副支部長 (次期支部長)	竹田 一彦
副支部長	林 徹太郎
支部参与	伊藤 一明 今井 嘉彦 岩知道 正 奥村 稔 木下 光夫 熊丸 尚宏 善木 道雄
田頭 昭二	竹味 弘勝 中野 惠文 平田 静子 廣川 健 藤原 照文 北條 正司 真鍋 敬
本仲 純子	本水 昌二 森田 秀芳 山崎 恒博
支部監事	小園 修治 中山 雅晴
庶務幹事	小崎 大輔 竹内 政樹
会計幹事	浅岡 聡
常任幹事	朝日 剛 安達 健太 安東 博幸 石坂 昌司 今井 昭二 上田 忠治 上田 真史
金田 隆	紙谷 浩之 北出 哲朗 北山 宏三 座古 保 高田 智明 田中 秀治 津村 徹
西 博行	原 哲也 平岡 章二 藤井 健太 藤田 勉 水口 仁志 森 勝伸 盛田啓一郎
森本 稔	藪谷 智規 横山 崇 吉村 友宏
支部幹事	浅野 比 井上 裕文 片岡 洋行 苅部 甚一 川村 邦男 小松原恒生 島崎 洋次
管原 庄吾	砂山 博文 武安 伸幸 寺川 敦哉 永阪 文惣 西本 潤 西脇 芳典 樋口 浩一
藤原 勇	渊脇 雄介 松原 弘樹 宮本 和英 門木 秀幸 山下 浩 山本 敦史 山本 剛
山本 孝	和田 光弘

【九州支部】	(〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 九州大学大学院農学研究院)
支 部 長	井倉 則之
次期支部長	吉田 秀幸
副支部長	廣沢 一郎 児玉谷 仁
支部参与	石黒 慎一 今坂藤太郎 今任 稔彦 岩崎 正武 鎌田 薩男 河濟 博文 喜納 兼勇
黒木 広明	合屋周次郎 財津 潔 下田 満哉 城 昭典 高館 明 谷口 功 田端 正明
出口 俊雄	中島憲一郎 中村 博 肥後 盛秀 増田 義人 松本 清 山口 敏男 山口 政俊
山田 淳	横山 拓史 吉村 和久 脇田 久伸
監 事	加地 範匡 宮崎真佐也
庶務幹事	椿 俊太郎
会計幹事	矢代 民美子
常任幹事	大島 達也 佐藤しのぶ 佐藤 博 田中 充 戸田 敬 浜瀬 健司 野間 誠司
松尾 隆司	松森 信明 原田 明 藤ヶ谷剛彦 満塩 勝 吉田 秀幸
幹 事	浅田 泰 新垣 雄光 石井 千晴 石岡 寿雄 石川 洋哉 伊藤 圭亮 稲田 幹
伊藤 圭亮	井上 高教 井原 敏博 上原 雅人 宇都宮 聡 梅木 辰也 江藤真由美 王子田彰夫
大渡 啓介	大庭 義史 大平 慎一 恩田 健 片山 佳樹 勝田 陽介 加藤 祐子 梶島 力
梶島 正美	上畑桂太郎 川井 隆之 川上 健次 川畑 明 神崎 亮 岸川 直哉 北島 利雄
北村 裕介	木下 将和 栗崎 敏 栗原 龍 黒田 直敬 呉 行正 財津 慎一 笹木 圭子
佐藤 正雄	佐藤 好美 佐野 洋一 澤津橋徹哉 塩路 幸生 清水 陽一 白土 英樹 末田 慎二
鈴木 絢子	宗 伸明 高橋 浩司 高橋 幸奈 高橋 政孝 竹中 繁織 手嶋 康介 天日 美薫
富永 昌人	富安 卓滋 鳥羽 陽 中島 常憲 中園 学 中武 貞文 中野 幸二 中村 沙織
中山 研一	新留 康郎 西田 正志 能田 均 能登 征美 馬場 由成 巴山 忠 原口 浩一
原田 雅章	藤井 清永 前田 明広 増田 寿伸 真瀬田幹生 又吉 直子 松井 利郎 松本 篤彦
松本 篤彦	馬渡 和真 水城 圭司 満尾 良弘 三宅 孝彰 村田 正治 森 健 安田みどり
山下 将一	横山さゆり 吉田 亨次 吉田 祐一 吉留 俊史

2024年「分析化学」論文賞

多数の掲載論文の中から厳正なる審査の結果、標記論文賞が下記のとおり決まりました。受賞論文の概要は本号141~142ページをご覧ください。

著者：石井千晴・古賀夢美・藤井 暁・秋田健行・三田真史・長野正信・浜瀬健司

題名：『メートル長高分離能光学分割カラムを用いる食酢中アラニン及びセリン鏡像異性体の分析』

[[分析化学] 所載ページ：第73巻第7・8号，337-344ページ]

著者：柳澤華代・横田裕海・藤本勝成・高貝慶隆

題名：『罰則項付き非対称最小二乗法によるオンライン同位体希釈—レーザーアブレーション—誘導結合プラズマ質量分析のフローピーク検出』

[[分析化学] 所載ページ：第73巻第9号，515-522ページ]

第92回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会 第128回計測自動制御学会力学量計測部会 第43回合同シンポジウム

主催 (公社)日本分析化学会有機微量分析研究懇談会

共催 (公社)計測自動制御学会力学量計測部会

協賛 (公社)日本分析化学会，(公社)日本化学会，(公社)日本薬学会

期日 2025年6月19日(木)・20日(金)

会場 北里大学薬学部・大村記念ホール・白金コモンスペース
プログラム

6月19日(1日目)

11.30~開場・受付

13.00~開会挨拶

13.10~14.30 Oral Presentation (一般：OG-, 若手：OY-)

OG-01 質量の単位「キログラム」の実現と国際的な質量標準設定への貢献(産業技術総合研究所 量標準総合センター) ○倉本直樹，狩野祐也，大田由一，藤田一慧，大久保章，稲場 肇，張ルウルウ，東 康史

OG-02 溶液の質量比混合における質量測定の手順(不確かさセミナーワーキンググループ，²(一財)日本食品分析センター) ○植木正明¹，加藤 毅²，渡部新一¹

OG-03 第十八改正日本薬局方第二追補の解説と解釈—一般試験法における9.62計量器・用器について(ザルトリウス・ジャパン(株)) ○松潤広一，原菜純，矢倉峰伯，五味 淳

OG-04 周囲環境の変化と計量精度の関係性(ラドワック・ジャパン) ○福留健司

14.40~15.30 Oral Presentation (一般：OG-, 若手：OY-)

OY-01 糸状菌由来マラリア治療薬シードの探索および最適化(¹北里大院感染制御，²北里大大村研，³北里大理，⁴帝京科学大生命環境，⁵琉球大農，⁶琉球大教) ○岡野太一¹，木村奏一郎¹，中原大生¹，吉岡修志¹，渡邊善洋^{1,2}，千成 恒^{1,2}，橋本瑞希³，小島裕貴^{1,2}，野中健一⁴，菅原章公^{1,2}，稲橋佑起^{1,2}，石井貴広⁵，照屋俊明⁶，石山亜紀^{1,2}，穂苺 玲^{1,2}，廣瀬友靖^{1,2}，砂塚敏明^{1,2}，岩月正人^{1,2}

OY-02 キキョウサポニンの品質評価を目的とした高温高圧下Flow式加水分解法による迅速分析法の開発(北里大学薬学部) ○北添達樹，小菅大我，宮崎帆乃佳，菊地桃世，小泉洋太，河野徳昭，瀨野裕之，川原信夫，星野卓之，吉松嘉代，白畑辰彦，小林義典

OG-05 茜草根より単離した二環式ヘキサペプチド，RA-XXVおよびRA-XXVIの構造(東京薬科大学) ○深谷晴彦，小田切増美，蓮田知代，竹谷孝一，一柳幸生

15.40~16.40 Plenary Lecture I

PL-01 深海生物由来微生物を使った新しいもの作り(近畿大学農学部水産学科) ○福田隆志

17.00~18.30 プラチナタワー12階コモンスペースにて Free Discussion (企業プレゼンテーション)

6月20日(2日目)

9.00~10.35 Oral Presentation (一般：OG-, 若手：OY-)

OG-06 燃焼イオンクロマトグラフィーによるペロプスカイト太陽電池の主成分ヨウ素の定量(¹㈱ナックテクノサイエンス，²日本大学理工学部) ○長嶋 潜¹，堀田哲男¹，吉川賢治²

OG-07 構造決定以外の元素分析利用の事例について(¹静岡県立大学薬学部，²㈱ア・ラビット・サイエンス) ○佐藤綾子^{1,2}

OG-08 ¹H NMRによるアスコルビン酸の酸化還元反応の観察((一財)日本食品分析センター) ○加藤 毅，山本佳奈，水口恵美子，内藤早苗，岩部雄大

OG-09 官能基化されたV形ホスト分子による選択的包接(徳島文理大学香川薬学部) ○兵頭 直，富永昌英，山口健太郎

OY-04 チオフェン三量体骨格を有する機能性架橋剤の開発(金沢工業大学大学院) ○宮下拓海，大嶋俊一，鈴木保任，坂本宗明

10.45~11.45 Poster Preview Presentation (一般：PG-, 若手：PY-)

PG-01 溶液の質量比混合における不確かさの評価(不確かさセミナーワーキンググループ，²(一財)日本食品分析センター) ○渡部新一¹，加藤 毅²，植木正明¹

PG-02 Pythonを用いてロボットを稼働する元素分析計自動挿入機の開発について(¹静岡県立大学薬学部，²㈱ア・ラビット・サイエンス) ○佐藤綾子^{1,2}

PG-03 Thermal Desorption法とGC-MSを用いた栽培中のハッカの経時的な揮発成分観測(北里大学薬学部) ○白畑辰彦，金井智久，北悠夏，古平栄一，中森俊輔，河野徳昭，吉松嘉代，小林義典

PG-04 芳香族スルホンアミドの共結晶におけるハロゲン結合ネットワーク構造(千葉大学共用機器センター) ○榊飛雄真，丸山紘輝，近藤 俊

PG-05 周囲環境の変化と計量精度の関係性(ラドワック・ジャパン) ○福留健司

PG-06 自動試料燃焼装置(AQF-5000H)を用いたC-ICのPFA分析(日東精工アナリテック(株)) ○浅利龍介，村田啓幸，大野慎介，林 則夫

PY-01 Binding Mode Chemical Screening Methodの開発と応用(¹北里大学大学院感染制御科学府，²早稲田大学先進理工学部) ○鈴木里名¹，君嶋 葵¹，高坂尚平¹，本間颯太¹，松井秀仁¹，渡邊善洋¹，花木秀明¹，岩月正人¹，中島琢自²，浅見行弘¹

PY-02 フンタマカビ網糸状菌におけるlacA導入による生物活性物質生産の解析(北里大・大村研) ○本間颯太，君嶋 葵，加藤 聡，堀内紅里，穂苺 玲，本庄雅子，小島裕貴，常盤俊之，菅原章公，岩月正人，知念拓実，荒木康子，高橋 理，白井健郎，伊藤孝太郎，浅見行弘

PY-03 真菌BF-1835株が生産するmTORC阻害活性物質の単離精製および構造解析(¹北里大学大学院薬学研究科，²愛知県がんセンター研究所) ○山田拳太郎¹，大手 聡¹，佐藤龍洋²，大城太一¹

PY-04 Actinacidiphila sp. が生産する新規ヒドロキサム酸化合物に関する研究(¹北里大学薬学部，²早稲田大学

先進理工学部) ○茂野 聡¹, 大沼奈央¹, 中島琢自², 竹山春子³, 供田 洋¹, 大城太一¹

PY-05 微生物資源からの脂質分解促進剤の探索 (北里大学薬学部) ○Elyza Aiman Azizah Nur, 小林啓介, 大手聡, 供田 洋, 大城太一

PY-06 イオンクロマトグラフィーによる乳製品中のリンの分析 (¹日本大学大学院理工学研究科, ²日本大学理工学部, ³㈱ナックテクノサイエンス) ○岡部涼風¹, 吉川賢治², 長嶋 潜³

PY-07 イオンクロマトグラフィーによる有機材料中のヨウ素の分析 (¹日本大学大学院理工学研究科, ²日本大学理工学部, ³㈱ナックテクノサイエンス) ○岡部涼風¹, 吉川賢治², 長嶋 潜³

PY-08 斐伊川における増水時の懸濁態リンの変動特性 (島根大学大学院自然科学研究) ○吉岡利真, 江川美千子, 安藤悠翔, 菅原庄吾

PY-09 微生物由来の抗酸化かび病菌活性物質の探索 (¹北里大学大学院感染制御科学府, ²北里大学大村研, ³帝京科学大学生命環境, ⁴海洋研究開発機構) ○濱田華凜¹, 薊はるき¹, 渡邊善洋^{1,2}, 菅原章公^{1,2}, 小島裕貴^{1,2}, 常盤俊之², 野中健一³, 稲橋佑起^{1,2}, 長野由梨子⁴, 廣瀬友靖^{1,2}, 砂塚敏明^{1,2}, 岩月正人^{1,2}

11.45~14.45 Exhibition booth / Lunch time プラチナタワー 12階コモンスペースに分析機器や消耗品等が展示されています。この機会に企業ブースにお立ち寄りください。

13.00~14.30 Poster Presentation Core Time

14.45~15.45 Panel Discussion 演題未定

15.55~16.55 Plenary Lecture 2

PL-02 One target の深掘りによる広がり (北里研究所北里大学メディカルセンター研究部) ○福山 隆

17.45~19.45 技術研修会

参加登録費 ①主催・共催及び協賛学会会員: 4,000円 (5月16日(金)まで), 5,000円 (5月17日(土)以降), ②非会員: 6,000円, ③学生: 2,000円

技術研修会費 主催・共催および協賛学会会員, 非会員: 事前申込 6000円, 当日申し込み 7000円, 学生 3000円

申込・問合せ先 〒108-8684 東京都港区白金5-9-1 北里大学薬学部 長井賢一郎 [電話: 03-5791-6261, E-mail: orgmicro-sympo@jsac.jp]

詳細は, 日本分析化学会有機微量分析研究懇談会のHP (<https://www.jsac.or.jp/~orgmicro/sympo2025/>)

中部支部 2025年度 愛知地区講演会

「化粧品における成分分析・構造キャラクターゼーション」

主催 (公社)日本分析化学会中部支部

期日 2025年7月2日(水) 15.20~17.20

会場 中部大学リサーチセンター 2階大会議室 [愛知県春日井市松本町1200, 交通: (1) JR中央本線「神領」駅下車北口「中部大学スクールバス」からスクールバスで約7分, (2) JR中央本線「高蔵寺」駅下車北口8番のりばより名鉄バス「中部大学前」行で約10分]

<https://www.chubu.ac.jp/about/location/>

講演1 分析視点から化粧品を見る

(㈱コーセー研究所安全性・

分析研究室分析グループ) 安田純子

講演2 化粧品製剤における超分子複合体の形成と構造解析

(日本メナード化粧品㈱研究技術第3部門

開発研究部未来製剤研究グループ) 豊田直見

参加費 無料

問合せ先 中部大学応用生物学部 石田康行

[E-mail: yishida@fsc.chubu.ac.jp]

*最新情報は中部支部ホームページ

(<https://www.jsac.or.jp/~chubu/>) に随時掲載します。

北陸地区講演会

主催 日本分析化学会中部支部

期日 2025年7月18日(金) 14.15~17.00

会場 富山大学工学部管理棟2階大会議室 [富山市五福3190, 交通: ①市内電車を利用する場合にはJR富山駅前市内電車「富山駅」より「富山大学前」行に乗り, 終点「富山大学前」より徒歩約8分, ②バスを利用する場合はJR富山駅前, バス乗場3番より乗り, 「富山大学前」下車, 徒歩約5分]

講演

1. 自動更新可能な電極を用いる電気化学測定法 (信州大理) 巽 広輔
2. 金属薄膜を利用した表面支援レーザー脱離イオン化質量分析イメージング法による脂質やステロイドの局在解析 (富山県大工) 大坂一生
3. 質量分析計を用いた医薬品中の不純物分析 (富山薬総研) 高山信幸

参加費 無料

意見交換会等 講演終了後富山駅周辺で行います。詳細(会場, 会費等)につきましてはお問い合わせください。参加希望者は6月20日(金)までにE-mailにて下記へお申し込みください。なお, 件名に「講演会」または「意見交換会」を入れてください。

申込・問合せ先 〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学学術研究部工学系 菅野 憲 [電話: 076-445-6866, E-mail: kanno@eng.u-toyama.ac.jp]

2025年度 LC/MS 分析士二段認証試験実施のお知らせ

標記につき, 下記要領で実施する予定ですのでお知らせいたします。

日時 2025年9月12日(金) 14時~16時

会場 ㈱島津製作所東京支社イベントホール [東京都千代田区神田錦町1-3, 交通: (地下鉄) 都営新宿線「小川町」駅, 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅, 東京メトロ丸の内線「淡路町」駅のB7出口より徒歩6分, 東京メトロ銀座線「神田」駅より徒歩10分, (JR)「神田」駅西口より徒歩10分]

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tokyo.html>

二段資格のイメージ 各種分析士に共通するものとして, 「手順書, 作業マニュアル, 規格を見れば, 自分で計画して業務を遂行できるレベル. 当該分析・測定技術に関連する物理, 化学, 生物, 電気, 機械等の基礎知識を有し, 装置等の日常点検, 保守等も行える。」と規定されます。LC/MS分析士においては「LC/MS装置とそれぞれのパーツの内容や原理の理解が十分にある。LC/MSを用いた試験について, 正確な操作を行うことができる。簡単な部品の交換が自分でできる。」ことが求められます。なお, 試験問題としては科学の各分野並びに化学・分析化学一般に関する知識を問う内容が約40%含まれます。

受験料 7,700円 (合格者は登録料4,400円を別途申し受けま

す)。先着 65 名。請求書の発行はいたしません。入金確認後、10 日程度で受験番号をお知らせします。

受験資格 受験できる方はこれまでに行われた LC/MS 分析士初段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後、専用ホームページ (<https://forms.gle/C8rm7oi2aqrzbz8or7>) にアクセスして必要事項を入力してください。

申込締切 9 月 2 日 (火) 15 時。会場に定員制限がありますので、入金順に受験番号を発行します。

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金 1754341、口座名義：公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会〔シヤ〕ニホンブンセキカガクカイエキタイクロマトグラフィー。なお、一度お振り込みいただいた受験料は返却しません。万一、当方の判断で試験が中止された場合には、次回の受験料を免除します。

問合せ先 (公社)日本分析化学会・LC 研究懇談会・分析士認証専門部会〔E-mail: lckonkanri@gmail.com〕

2025 年度 LC/MS 分析士初段認証試験 実施のお知らせ

標記につき、記要領で実施する予定ですのでお知らせいたします。各会場へのお問い合わせは、ご遠慮ください。

日時 2025 年 10 月 7 日 (火) 14 時～16 時

会場

①東京会場：(株)島津製作所東京支社イベントホール〔東京都千代田区神田錦町 1-3、交通：(地下鉄)都営新宿線「小川町」駅、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅、東京メトロ丸の内線「淡路町」駅の B7 出口より徒歩 6 分、東京メトロ銀座線「神田」駅より徒歩 10 分。(JR)「神田」駅西口より徒歩 10 分。

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tokyo.html>

②京都会場：(株)島津製作所本社研修センター〔京都府京都市中京区西ノ京桑原町 1、交通：(地下鉄)京都市営地下鉄烏丸線「京都」駅より国際会館方面に乗り、「烏丸御池」駅にて下車し、京都市営地下鉄東西線「太秦天神川」方面に乗り換え、「西大路御池」駅下車、4 番出口より南へ徒歩 3 分。(市バス)京都駅烏丸中央口北側のバス乗り場より「205 系統：西ノ京円町・金閣寺道ゆき」または「26 系統：宇多野・山越ゆき」に乗り、「西大路三条」で下車後、三条通りを西へ徒歩 3 分(北側)京都駅からの所要時間約 35 分。

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/sanjo.html>

初段資格のイメージ 各種分析士に共通するものとして、「指示をすれば一人で分析できるレベル。当該分析・測定技術に関する基礎的知識および関連する法令に関する知識を有する。」と規定されます。LC/MS 分析士においては「クロマトグラフィーや LC/MS に関する基礎的知識と原理に対する理解が十分にある」ことが求められます。なお、試験問題としては科学の各分野並びに化学・分析化学一般に関する知識を問う内容が約 50% 含まれます。

受験料 6,600 円 (合格者は登録料 3,300 円を別途申し受けます)。請求書の発行はいたしません。入金確認後、10 日程度で受験番号をお知らせします。

申込方法 受験料の銀行振込後、専用ホームページ (<https://forms.gle/8cCzDs66PRniZQu77>) にアクセスして必要事項を入力してください。

申込締切 9 月 26 日 (金) 15 時。会場に定員制限がありますので、入金順に受験番号を発行します。

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金 1754341、口座名義：公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会〔シヤ〕ニホンブンセキカガクカイエキタイクロマトグラフィー。一度お振り込みいただいた受験料は返却しません。万一、コロナ禍等で試験が中止された場合には、次回の受験料を免除します。

問合せ先 (公社)日本分析化学会・LC 研究懇談会・分析士認証専門部会〔E-mail: lckonkanri@gmail.com〕

—以下の各件は本会が共催・協賛・ 後援等をする行事です—

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

25-1 NMR 研究会 低磁場 NMR の最前線

主催 高分子学会 NMR 研究会

期日 2025 年 5 月 9 日 (金)

会場 東京海洋大学薬水会館大会議室

ホームページ <https://member.spsj.or.jp/event/>

連絡先 〒104-0042 東京都中央区入船 3-10-9 新富町ビル 6 階 (公社)高分子学会 事業課 石津光暉

〔電話：03-5540-3770, E-mail: resg2@spsj.or.jp〕

第 32 回クロマトグラフィーシンポジウム

主催 クロマトグラフィー科学会

期日 2025 年 5 月 14 日 (水)～16 日 (金)

会場 長崎大学医学部良順会館他

(会場変更の可能性あり)

ホームページ

<https://sites.google.com/view/nagasaki-u-ac-cs32/>

連絡先 〒852-8501 長崎県長崎市坂本 1-7-1 長崎大学病院薬剤部 大山 要

〔電話：095-819-7247, E-mail: k-ohyama@nagasaki-u.ac.jp〕

2025 年関東支部セミナー (電気化学会)

1 から学ぶ電気化学のいろは
(原理からアプリケーションまで)

主催 (公社)電気化学会関東支部

期日 2025 年 5 月 15 日 (木)

会場 慶應義塾大学日吉キャンパスおよびオンライン

ホームページ

https://kanto.electrochem.jp/pages/notice/seminar/page-seminar_202505.html

連絡先 〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学数理物質科学研究群 電気化学会関東支部事務局 辻村清也

〔電話：029-853-5358, E-mail: kanto@electrochem.jp〕

日本金属学会オンライン教育講座 「金属組織学の基礎」

主催 (公社)日本金属学会
期日 2025年5月21日(水)・22日(木)
会場 オンライン (Zoom) による講義
ホームページ
<https://www.jim.or.jp/seminarsymposium/>
連絡先 〒980-8544 宮城県仙台市青葉区一番町1-14-32
(公社)日本金属学会 セミナー・シンポジウム参加係
〔電話: 022-223-3685, E-mail: meeting@jim.jp〕

腐食防食部門委員会第360回例会

主催 (公社)日本材料学会
期日 2025年5月27日(火)
会場 大阪府教育会館たかつガーデン2階コスモス
ホームページ <http://www.jsms.jp>
連絡先 〒606-8301 京都府京都市左京区吉田泉殿町1-101
(公社)日本材料学会 [E-mail: jim@office.jsms.jp]

第37回高分子基礎物性研究会講座 高分子測定入門 ―考え方から解析法まで―

主催 (公社)高分子学会高分子基礎物性研究会
期日 2025年5月29日(木)・30日(金)
会場 オンライン
ホームページ
<https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=690>
連絡先 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F (公社)高分子学会 第37回高分子基礎物性研究会講座係
〔電話: 03-5540-3771, E-mail: jigyo@spsj.or.jp〕

界面コロイドラーニング 第41回現代コロイド・界面化学基礎講座 大阪会場

主催 日本化学会コロイドおよび界面化学部会
期日 2025年6月12日(木)・13日(金)
会場 大阪産業創造館
ホームページ
<https://colloid.csj.jp/202502/learning-41st-osaka/>
連絡先 第41回現代コロイド・界面化学基礎講座 事務局
〔E-mail: jigyoukikaku_01@colloid.csj.jp〕

界面コロイドラーニング 第41回現代コロイド・界面化学基礎講座 東京会場

主催 日本化学会コロイドおよび界面化学部会
期日 2025年7月3日(木)・4日(金)
会場 同志社大学東京オフィス
ホームページ
<https://colloid.csj.jp/202502/learning-41st-tokyo/>

連絡先 第41回現代コロイド・界面化学基礎講座 事務局
〔E-mail: jigyoukikaku_01@colloid.csj.jp〕

第37回バイオメディカル分析科学シンポジウム BMAS2025

主催 日本薬学会・物理系薬学部会
期日 2025年8月28日(木)・29日(金)
会場 東京たま未来メッセ (東京都立多摩産業交流センター)
ホームページ
<https://sites.google.com/view/bmas2025>
連絡先 〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1 東京薬科大学 薬学部・生体分析化学教室内 BMAS2025 事務局
柳田顕郎
〔電話: 042-676-4537, E-mail: yanagida@toyaku.ac.jp〕

第74回ネットワークポリマー講演討論会

主催 合成樹脂工業協会
期日 2025年10月15日(水)～17日(金)
会場 KDDI 維新ホール
ホームページ <https://www.jtpia.jp/>
連絡先 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-10-4 丸石ビルディング6F 合成樹脂工業協会 ネットワークポリマー講演討論会事務局
〔電話: 03-5298-8003, E-mail: atsushi.otaki@jtpia.jp〕

初めて書く論文は母語の日本語で！ 「第24回初執筆論文特集」募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、2025年(第74巻)に企画しております第24回「若手研究者の初論文特集」の特集名称を変更し、第24回「初執筆論文特集」として原稿を募集いたします。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

「お知らせ」欄原稿について

支部並びに研究懇談会の役員の皆様：掲載用の原稿ファイルをどうぞ電子メールでお送りください。送り先は shomu@jsac.or.jp です。原稿の長さに制限はありませんが原稿締切日は掲載月の前々月25日(例:1月号掲載→11月25日締切)となっておりますのでご注意ください。

本会外から掲載をご希望の場合は以下をご参照ください。

- 1) 掲載できるものは本会が共催、協賛、後援するものに限られます。
- 2) 国際会議につきましては共催、協賛、後援申請に関する規程並びにフォームがありますので、ホームページをご覧ください。本会事務局長宛にお問い合わせください。
- 3) 国際会議以外の講演会等に関しましては、会名、会場、主

催団体名、同代表者名、開始期日、終了期日、連絡先並びに同電子メールを記載のうえ、書面でお申し出ください。

- 掲載原稿の作成要領に関しましては承諾をご返事する際にお知らせします。
- 本会支部または研究懇談会が共催、協賛、後援を承諾した事業につきましては、その旨をメールにお書きいただき、原稿ファイルを shomu@jsac.or.jp にお送りください。

国際会議以外の共催、協賛、後援に関する規程抜粋(共催)

8. 討論会、講演会等の共催とは、その討論会、講演会等の開催について、本会は主体性を持たず、会誌等を通じて広報活動等の援助を行う場合をいう。
9. 本会が討論会、講演会等を共催する場合は、その討論会、講演会等の主要議題が本会の専門分野と関連を持ち、本会正会員が会議の準備、運営等の委員に若干名加わることを条件とする。
10. 本会が共催する討論会、講演会等に対しては、他学協会長等の申し出によって会誌等による広報活動の援助を行う。特に理事会の承認を得て分担金を支出することがある。(後援又は協賛)
11. 討論会、講演会等の後援又は協賛とは、本会がその討論会、講演会等の開催に賛同し、後援又は協賛団体の一つとして、本会名義の使用を認める場合をいう。
12. 本会が討論会、講演会等を後援又は協賛する場合は、その討論会又は講演会が分析化学に関連を持ち、その開催が本会会員にとっても有意義であることを条件とする。
13. 本会が後援又は協賛する討論会、講演会等に対しては、希望に応じ会誌等による広報活動の援助を行うことがある。

ぶんせき誌「技術紹介」の原稿募集

『ぶんせき』編集委員会

分析化学は種々の分野における基盤技術であり、科学や産業の発達・発展だけでなく、安全で豊かな生活の実現に分析機器が大きく貢献してきました。近年の分析機器の高性能化・高度化は目覚ましく、知識や経験がなくても、微量物質の量や特性を測定できるようになりました。この急速な発展は、各企業が持つ高度で多彩な技術やノウハウによって達成されたといっても過言ではありません。一方、高度化された分析機器の性能・機能を十分に発揮させるためには、既存の手法に代わる新規な分析手法が必要であり、高度な分析機器に適合した分析手法や前処理手法の開発が分析者にとって新たな課題となっています。また、分析目的に合致した高純度試薬の開発に加えて、測定環境の整備、試薬や水の取り扱いなどにも十分な配慮が必要です。極微量の試料を分析する際には、測定原理を把握すると共に、手法や操作に関する知識・技能を身に付ける必要があると考えます。

このような背景に鑑み、『ぶんせき』誌では新たな記事として「技術紹介」を企画いたしました。分析機器の特徴や性能、機器開発に関わる技術、そしてその応用例などを紹介・周知することが分析機器の適正な活用、さらなる普及に繋がると考えており、これらに関する企業技術を論じた記事を掲載することといたしました。また、分析機器や分析手法の利用・応用における注意事項、前処理や操作上のコツなども盛り込んだ紹介記事を歓迎いたします。これらの記事を技術紹介集として、『ぶんせき』誌ホームページ内に蓄積することで、様々な分野における研究者や技術者に有用な情報を発信でき、分析化学の発展に貢献できるものと期待しております。分析機器や分析手法の開発・応用に従事されている多くの皆様方からのご投稿をお待ちしております。

記

1. 記事の題目：「技術紹介」
2. 対象：以下のような分析機器、分析手法に関する紹介・解説記事
 - 1) 分析機器の特徴や性能および機器開発に関わる技術、
 - 2) 分析手法の特徴および手法開発に関わる技術、
 - 3) 分析機器および分析手法の応用例、
 - 4) 分析に必要なとなる試薬や水および雰囲気などに関する情報・解説、
 - 5) 前処理や試料の取扱い等に関する情報・解説・注意事項、
 - 6) その他、分析機器の性能を十分に引き出すために有用な情報など
3. 新規性：本記事の内容に関しては、新規性は一切問いません。新規の装置や技術である必要はなく、既存の装置や技術に関わるもので構いません。また、社会的要求が高いテーマや関連技術については、データや知見の追加などにより繰り返し紹介していただいても構いません。
4. お問い合わせ先：日本分析化学会『ぶんせき』編集委員会 [E-mail : bunseki@jsac.or.jp]

「分析化学」の掲載料についてのお知らせ

「分析化学」誌では、2020年4月より論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただき、pdfファイルを進呈することになりました。なお、論文の別刷を希望される場合は、別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式 (P: 印刷ページ数) (単位: 円)

会員の場合: $30,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律 80,000 円)

会員外の場合: $40,000 + 5,000 \times (P - 4)$ (印刷ページ数が14ページ以上は一律 90,000 円)

*上記に消費税がかかります。